

2 演習用教材

事例シナリオ型
学内PBL演習用教材

【船橋市編】
ウェブサイトリニューアル案件

2.1 要求分析・提案フェーズ

2.1.1 要求分析・提案フェーズの概要

(1) 学習目標

顧客の要望や現行のWebコンテンツの現状・課題の分析等に基づいて、制作するWebコンテンツの企画を検討し、「企画提案書」を作成する。

(2) 学習テーマ

- ・クライアントのニーズ分析・課題分析
- ・開発要件定義
- ・デザインコンセプト策定
- ・企画立案・企画提案書の作成

(3) 学習設定

Web制作企業株式会社FDLが、クライアント（当該Webサイトの運営者）より相談を受け、サイトのリニューアルに取り組むことになった。
学習者は株式会社FDLの社員として、上位者の指示を受けながら当該業務を実施する。

(4) 学習時間

全13.5時間（1.5時間×9回）

学習時間の内訳と使用する教材

学習内容	時間配分	使用教材
2.1 要求分析・提案フェーズ		
ヒアリング	3.0時間	ヒアリングシート
要求分析	3.0時間	開発要求分析シート
提案書作成	4.5時間	企画提案書
プレゼンテーション・学習者による相互評価	1.5時間	
講師による評価	1.5時間	
合計	13.5時間	

2.1.2 ヒアリング演習

(1) 概要

(2) 講義資料

(1) 概要

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	1.ヒアリングの実施
演習課題	クライアントから今回開発するウェブサイトに関するイメージや要望等、提案書の作成に必要な情報をヒアリングしなさい。
演習内容	① ヒアリングの準備 ② ヒアリングの実施 ③ ヒアリング実施結果の整理
事前情報	○ 案件概略
アウトプット	○ ヒアリングシート
講師の役割	○ クライアント役
想定所要時間	3.0時間（1.5時間×2コマ）

② 演習の目標

- ① ウェブサイト開発に必要な情報を過不足なく聴取するための質問項目・質問内容を検討することができる。
- ② ヒアリング実施時の流れをイメージすることができる。
- ③ ヒアリング中、臨機応変に対応しながら情報を聴取することができる。
- ④ クライアントから得た情報を過不足なく整理することができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
状況設定、作業の内容・流れの把握	20分
ヒアリングの準備	60分
ヒアリングの実施	30分
ヒアリング実施結果の整理	70分

(2) 講義資料

- ① 演習課題
- ② プロジェクト案件概略
- ③ ヒアリング実施シート フォーマット
- ④ ヒアリングシート フォーマット

① 演習課題

◆ 状況説明

- あなた方は**船橋市**にあるIT企業、株式会社FDLでWeb制作を担当している。
- 先日、FDL社の島井社長が船橋市の観光関連の組織を所用で訪問したところ、そこで働く職員の小倉さんから次のような相談を受けた。
 - 2018年の6月に、**船橋市の観光関連の組織**のサイトをリニューアルした。
 - しかし、アクセス数に割に、問い合わせなどが少なく、確認したところ、サイトの滞在時間が著しく少なく、下層ページが見られていないことがわかった。
 - この状況を改善してほしい。
- この相談を受けてFDL社では、**船橋市の観光関連の組織サイト**の改善案の提案を行うことになった。
- あなた方はこのプロジェクトにWeb制作チームとして参加する。
- プロジェクトの開始にあたって、あなたは、まず上司から、提案書の作成にあたって、船橋市の観光関連の組織の担当者に対し、サイトリニューアルの方向性に関するヒアリングを実施するように指示を受けた。

① 演習課題

◆作業手順

- 手順 1 開発物のイメージや要件について担当者にヒアリングを行うための準備として、ヒアリングの流れや質問項目を検討してヒアリングシートを作成しなさい。
- 手順 2 ヒアリングシートを使ってヒアリングを実施しなさい。
- 手順 3 ヒアリング時に聴取した情報をヒアリング実施シートに整理しなさい。

② プロジェクト案件概略

項目	内容
プロジェクトテーマ	船橋市の観光関連の組織Webサイトのリニューアル企画の検討・提案
目的・背景	船橋市の観光関連の組織のWebサイトをリニューアルしたが、アクセス数の割に問い合わせが少なく、サイトの滞在時間が著しく短い。このため、まずはページの滞在時間を増やし、サイト内のコンテンツを見てもらえるようにしてほしい。
開発概要	船橋市の観光関連の組織Webサイトのリニューアル <ul style="list-style-type: none">・ 予算と納期の関係から、新しいコンテンツは加えず、基本的に現存のコンテンツの再配置に留める・ テキスト及びコストのかからない著作権の問題の発生しないコンテンツであれば利用可とする。・ 同様の理由でインバウンド対応の多国語対応も次回以降の対応とする。・ a)船橋市のみを目的として来訪する近隣の観光客、 b)周辺地域の観光にあわせて来訪する観光客 それぞれに対応するわかりやすいサイトとする。

③ ヒアリング実施シート

No	質問項目	ヒアリング記録

※記入欄が不足する場合は、シートの複製等により記入のこと。

④ ヒアリングシート1 クライアント情報

記入日： 年 月 日

項目	
クライアント名 (企業名)	
所在地	
連絡先	
担当者名 (部署・肩書・氏名)	
担当者連絡先 (メールアドレス/携帯電話番号)	

※記入欄が不足する場合は、シートの複製等により記入のこと。

④ ヒアリングシート2 サイト基本情報

記入日： 年 月 日

項目	
サイト名	
ドメイン (URL)	
サイトの目的	
予算	<input type="checkbox"/> 20万円 <input type="checkbox"/> 50万円 <input type="checkbox"/> 80万円 <input type="checkbox"/> 100万円 <input type="checkbox"/> それ以上
公開予定日	

※記入欄が不足する場合は、シートの複製等により記入のこと。

④ ヒアリングシート3 制作情報(1)

記入日： 年 月 日

項目	
ターゲット	
希望するコンテンツ	
利用環境	
資料・素材の有無	
参考サイト	

※記入欄が不足する場合は、シートの複製等により記入のこと。

④ ヒアリングシート3 制作情報(2)

記入日： 年 月 日

項目	
競合他社サイト	
課題その他	

※記入欄が不足する場合は、シートの複製等により記入のこと。

2.1.3 要求分析演習

(1) 演習計画

(2) 講義資料

(1) 演習計画

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	2. 要求分析
演習課題	クライアントへのヒアリング結果を踏まえて、クライアントの要求を整理・分析し、要求仕様・開発要件を策定しなさい。
作業内容	① クライアントの要望の整理・分析 ② 要求仕様・開発要件の策定
事前情報	① プロジェクト案件概略 ② ヒアリング結果
アウトプット	○ 開発要件
講師の役割	○ 上司役
想定所要時間	3.0時間（1.5時間×2コマ）

② 演習の目標

- ① ヒアリングで得た情報をもとに、クライアントの要望をどのようにして開発物に反映するかを検討することができる。
- ② ヒアリングで得た情報を分析して、開発要件を策定することができる。
- ③ クライアントの要求仕様と開発要件をプロジェクト関係者に周知するために、簡潔かつわかりやすく整理することができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
課題、作業内容・流れの把握	10分
クライアントの要望の整理	30分
要求仕様・開発要件の検討	140分

(2) 講義資料

- ① 演習課題
- ② 開発要件分析シート

① 演習課題

◆ 状況説明

- 今回のプロジェクトのクライアントである船橋市の観光関連の組織の小倉さんにヒアリングを実施したことにより、本件Webサイトに対する要望やイメージが明らかになった。
- しかし、そこで聞き取ったクライアントの要望は現状、例えば「ホームページを長い時間みるようにしてほしい」など、非常に漠然とした内容となっている。
- 現時点では、このような要望を、具体的にどのようにして開発するウェブサイトに対して反映していくかを整理しきれていない。
- そこで、株式会社FDLでは、このヒアリング結果をもとに、開発要件の洗い出しを行うことにした。
- あなたは島井社長の指示を受けて、ヒアリングの結果を踏まえ、プロジェクトチームメンバーと相談しながら、クライアントの要望分析を行い、開発要件を洗い出して資料にとりまとめることとなった。

① 演習課題

◆作業手順

- 手順 1 ヒアリング結果のまとめをもとに、クライアントの要望を整理し、開発要件について議論しなさい。

- 手順 2 議論した内容を開発要件分析シートに整理しなさい。

② 開発要件分析シート 1

項目	開発要件
目的	
手段	
利用者	
拡張性	

※項目構成は適宜、追加・変更等を行ってよい。

※記入欄が不足する場合は、適宜、シートの複製等により対応すること。

② 開発要件分析シート2

項目	開発要件
運用・保守性	
セキュリティ	
制約条件	
リニューアル方針	

※項目構成は適宜、追加・変更等を行ってよい。

※記入欄が不足する場合は、適宜、シートの複製等により対応すること。

2.1.4 提案書作成演習

(1) 演習計画

(2) 講義資料

(1) 演習計画

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	3 提案書の作成
演習課題	このプロジェクトで実施する、ホームページリニューアルの提案書作成しなさい。また、それを使ってプレゼンテーションを行いなさい。
作業内容	① 提案書の作成 ② プレゼンテーションの実施
事前情報	① プロジェクト案件概略 ② ヒアリング結果 ③ 開発要件
アウトプット	① 提案書
講師の役割	上司役
想定所要時間	4.5時間（1.5時間×3コマ）

② 演習の目標

- ① クライアントの要求仕様・開発要件を踏まえて提案書を作成できる。
- ② クライアントやプロジェクト関係者が開発物をイメージできるように、開発イメージ画像や類似事例の紹介を取り入れながら、提案書の内容を構成できる。
- ③ 作成した資料を用いて明解なプレゼンテーションを行うことができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
課題、作業内容・流れの把握	10分
提案書の作成	240分
プレゼンテーション	20分

(2) 講義資料

① 演習課題

別紙① 提案書フォーマット

別紙② サイトの不満点アンケート結果

① 演習課題

◆ 状況説明

- あなたたちは先日、ヒアリングによって得た情報をもとに、クライアントの要望を分析し、開発要件をとりまとめた資料を作成した。
- この資料に基づいて、**船橋市**の担当者である小倉さんや、株式会社FDLの島井社長と打合せを行ったところ、基本方針は問題なしとなった。
- そこで、**船橋市**の担当者である小倉さんが予算獲得のために小倉さんの上司へ説明を行うために、プレゼンテーションを行ってほしいとの依頼があった。
- あなたたちは島井社長から指示を受けて、提案書を作成し、プレゼンテーションを行うこととなった。
- FDL社では、一般ユーザーが現在のサイトにどのような不満点を持っているかのマーケティング調査を実施、その結果を踏まえて、提案書の作成を行い、プレゼンテーションの準備をすることとなった。

① 演習課題

◆ 作業手順

手順1 作成したヒアリング結果や開発要件検討シート、アンケート結果を参考にしながら、提案書を作成しなさい。

手順2 作成した提案書を用いてプレゼンテーションを行いなさい。

2.2 設計（デザイン）フェーズ

2.2.1 設計（デザイン）フェーズの概要

(1) 学習目標

ウェブサイト開発におけるデザイン業務のプロセス・作業内容の理解

(2) 学習テーマ

ウェブサイトデザインの作成・評価・改善

(3) 学習設定

船橋市の観光関連の組織から、ホームページのリニューアル案件を依頼された株式会社FDLが、案件受託のために、リニューアル案を提案することになった。クライアントのニーズのヒアリングは実施しており、必要要件が明確化されているので、その条件の中でデザインリニューアル案を提示する。

(4) 学習時間

全19.5時間（1.5時間×13回）

学習時間の内訳と使用する教材

学習内容	時間配分	使用教材
2.2 .設計（デザイン）フェーズ		
ワイヤーフレーム作成	6.0時間	
デザイン案作成	7.5時間	
評価・改善の実施	6.0時間	

2.2.2 ワイヤースケッチ作成演習

(1) 概要

(2) 講義資料

(1) 概要

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	1.ワイヤーフレーム作成
演習課題	提案書の内容を踏まえ、要件を満たすようワイヤーフレームを作成する。
演習内容	① ワイヤーフレームの作成 ② プレゼンテーションの実施
事前情報	○ 提案書
アウトプット	○ ワイヤーフレーム (Topページ、第一階層 1 ページ分)
講師の役割	○ 上司
想定所要時間	6.0時間 (1.5時間×4コマ)

② 演習の目標

- ① 提案書の内容に準じ、要件を満たす要素配置を適切に行ったワイヤーフレームの作成ができる。
- ② 自分たちの作成したワイヤーフレームについて、情緒的ではなく、論理的に説明するプレゼンテーションを行うことができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
作業の内容・流れの把握	10分
ワイヤーフレームの作成	150分
プレゼンテーションの内容検討	30分
プレゼンテーションの実施	20分

(2) 講義資料

① 演習課題 資料：提案書

① 演習課題

◆ 状況説明

- あなた方はIT企業、株式会社FDLでWeb制作を担当している。
- 先日、株式会社FDLの社長が船橋市の観光関連の組織を所用で訪問したところ、Webサイトリニューアルの相談を受けた
- あなた方はこのプロジェクトにWeb制作チームとして参加することとなり、提案書を作成した。
- この提案が受け入れられ、株式会社FDLで、船橋市の観光関連の組織のWebサイトのリニューアルを受託することとなった。
- そこで、あなた方は、上司から、今回の開発要件を満たすよう、ワイヤーフレームを作成するように指示を受けた。
- あなた方は、提案書に策定されたコンセプトや修正方針、サイトマップなどに基づいて、Topページ及び第一階層のワイヤーフレームを作成することになった。

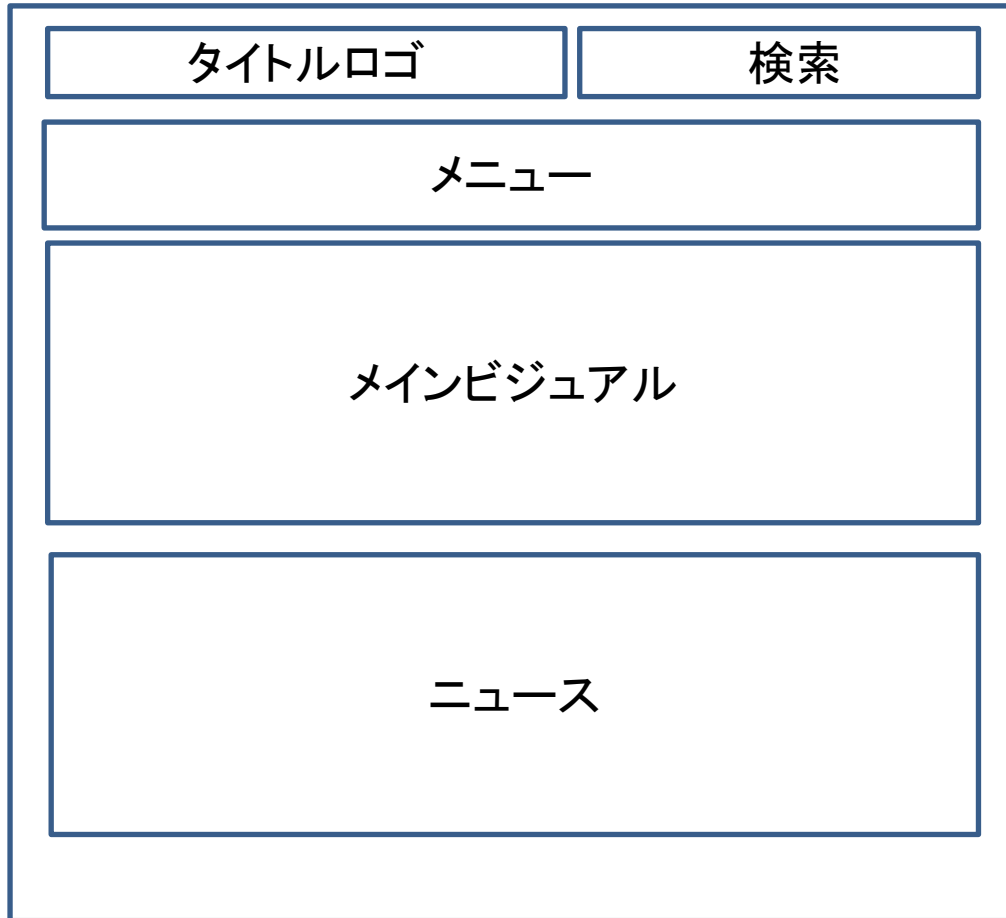
① 演習課題

◆ 作業手順

- 手順 1 提案書に記載された要件に従って、Topページおよび第1階層のワイヤーフレームを作成しなさい。
- 手順 2 作成したワイヤーフレームに関するプレゼンテーションを行うために、デザインの意図や理由について整理しなさい。
- 手順 3 上司にワイヤーフレームを用いてプレゼンテーションを行い、承認を得なさい。

① 演習課題

◆ ワイヤフレーム例



2.2.3 デザイン案作成演習

- (1) 演習計画
- (2) 講義資料

(1) 演習計画

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	2. デザイン案作成
演習課題	1で作成したワイヤーフレームに基づき、Topページ及び第一階層ページのデザイン案を作成しなさい
作業内容	デザイン案の作成
事前情報	① 提案書 ② ワイヤーフレーム
アウトプット	○ デザイン案 (Topページ・第一階層ページ)
講師の役割	○上司役
想定所要時間	7.5時間 (1.5時間×5コマ)

② 演習の目標

- ① 提案書及びワイヤーフレームの内容を踏まえ、記載された要件を満たすデザイン案を作成することができる。
- ② 自身が設計したデザインについて、論理的に説明することができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
課題、作業内容・流れの把握	10分
デザイン案の作成	330分
プレゼンテーション	20分

(2) 講義資料

① 演習課題

① 演習課題

◆ 状況説明

- あなた方は船橋市の観光関連の組織Webサイトのリニューアル案提案書に基づいて、トップページおよび第一階層のワイヤーフレームを作成した。
- このワイヤーフレームはクライアントを含むプロジェクト関係者で共有され、特に問題なしとの評価がなされ、合意を得ることができた。
- そこであなた方は、上司から次の作業として、デザイン案を固め、クライアントに提示するデザイン案を作成するように指示を受けた。
- 今回のデザインでは、新規に写真やイラスト、テキスト等を作成することは予算の面で難しいため、現状のサイトで活用されている素材を活用することとなっている。
- そのため、あなた方は、基本的に現状のサイトから素材を引用しつつ、デザイン案の作成に着手することとした。

① 演習課題

◆ 作業手順

- 手順 1 ワイヤフレームをもとに、トップページおよび第 1 階層のデザイン案を作成しなさい。
作成したデザイン案は画像で提示できれば、使用するソフトウェアは問いません。
- 手順 2 作成したデザイン案に関するプレゼンテーションを行うために、デザインの意図や理由について整理しなさい。
- 手順 3 上司にデザイン案を用いてプレゼンテーションを行い、承認を得なさい。

2.2.4 評価と改善演習

(1) 演習計画

(2) 講義資料

(1) 演習計画

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	3 デザイン案 評価・改善の実施
演習課題	作成したデザイン案について、提案書及びワイヤーフレームの要件を満たしているか、ユーザビリティに配慮できているかなどを評価し、問題点を抽出しなさい。さらに、問題点を踏まえ、改善方針を検討し、改善を実施しなさい。
作業内容	<ul style="list-style-type: none">① 評価の準備・実施② 問題点の抽出・改善方針の検討③ 改善の実施
事前情報	<ul style="list-style-type: none">① 提案書② ワイヤーフレーム③ デザイン案
アウトプット	<ul style="list-style-type: none">① 評価結果（要件チェック・ユーザビリティ評価）② 問題点・改善方針検討シート③ デザイン改善案
講師の役割	上司役
想定所要時間	6.0時間（1.5時間×4コマ）

② 演習の目標

- ① 要件仕様に適合しつつ、ユーザビリティに配慮したデザインの評価方法について理解し、実施することができる。
- ② 自身の作成したデザイン案に関して、客観的に評価を行うことができる。
- ③ 評価結果をもとに、具体的な問題点を抽出することができる。
- ④ 抽出した問題点をもとに、具体的な改善方針を検討することができる。
- ⑤ 策定した改善方針をもとに、デザインの改善を実施することができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
課題、作業内容・流れの把握	10分
評価の準備	30分
評価の実施	60分
問題点・改善点の検討	80分
改善の実施	180分

(2) 講義資料

① 演習課題

資料：要件チェックシート

資料：ユーザビリティ評価シート

① 演習課題

◆ 状況説明

- あなた方は、船橋市の観光関連の組織Webサイトのリニューアル提案書に基づき、トップページおよび第一階層のワイヤーフレームとデザイン案を作成した。
- 上司にこのデザイン案を提出したところ、次のような指摘を受けた。
- クライアントに提出するにあたっては、まず、提案書で策定された要件をすべて満たすことができているかどうかをチェックする必要がある。
- また、今回のリニューアルの最大の目的となっていたユーザにとっての使いやすさ、わかりやすさの改善ができているのかも、客観的に評価しなければならない。
- そこで、あなた方は、要件チェックシートとユーザビリティ評価シートを用いて作成したデザインを客観的に評価し、自身の作成したデザインに問題点がないかを確認することとした。
- また、問題点や気づいた点を発見した場合は、改善方針を検討し、デザイン案を改善した上で、クライアントに提出することとなった。

① 演習課題

◆ 作業手順

- 手順 1 提案書の記述内容をもとに、要件チェックシートを作成しなさい。
- 手順 2 要件チェックシートを使って、作成したデザイン案が提案書に定められた要件を満たしているか評価しなさい。
- 手順 3 ユーザビリティ評価シートを使って、作成したデザイン案のユーザビリティに関して評価を行いなさい。
- 手順 4 手順 2 と手順 3 の結果を踏まえて、問題点・修正方針検討シートを使って、問題点と修正方針を検討しなさい。
- 手順 5 改善方針に従って、デザイン案の改善を実施しなさい。
- 手順 6 デザイン案の評価結果、問題点、改善した点を整理して、上司に報告しなさい。

2.3 実装（プログラミング）フェーズ

2.3.1 実装（プログラミング）フェーズの概要

(1) 学習目標

Webサイトを作成したデザインからコーディングする

(2) 学習テーマ

チームによるWebサイトのチームコーディング作業

(3) 学習設定

船橋市の観光関連の組織から、ホームページのリニューアル案件を依頼されたFDL社が提案したデザイン案が船橋市の観光関連の組織の了承を得たため、デザインを元にコーディング作業を行うこととなった。

(4) 学習時間

全9.0時間（1.5時間×6回）

学習時間の内訳と使用する教材

学習内容	時間配分	使用教材
2.3 実装（プログラミング）フェーズ		
チームコーディング作業	9.0時間	

2.3.2 HTMLチームコーディング演習

(1) 概要

(2) 講義資料

(1) 概要

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	1.チームコーディング作業
演習課題	制作したデザインを元に、サーバにアップできるようにHTMLコーディングもしくはCMSを用いて構築する。
演習内容	① チームコーディング作業
事前情報	○ デザイン案
アウトプット	○ Webサイト (Topページ、第一階層1ページ分)
講師の役割	○ 上司
想定所要時間	9.0時間 (1.5時間×6コマ)

② 演習の目標

- ① 制作したデザイン案を元に、HTMLコーディングもしくはCMSを用いて、サイトを構築することができる。
- ② コーディング作業にあたっては、チームで共同して行うことができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
作業の内容・流れの把握	10分
チームコーディングの規約の策定	50分
コーディングの実施	390分
テストの実施・修正の実施	90分

(2) 講義資料

① 演習課題

資料：デザイン案

① 演習課題

◆ 状況説明

- あなた方は、**船橋市の観光関連の組織Web**サイトのデザイン案を作成し、上司の了承を得た。
- 制作したデザイン案を元に、Webサイト制作の実装を行うことになった。
- 実装はHTMLコーディング、CMSの利用いずれでもよいが、制作時間の短縮のため、コーディング作業はチームで共同で行うようように指示を受けた。

① 演習課題

◆ 作業手順

手順1 チームで共同してコーディングを行うために、コーディングの方針（HTML、CMSなど）と、コーディング作業を行うために必要な決めごとを作成する。

手順2 決定した決めごとに従ってコーディング作業を行う

手順3 制作したサイトのテストを行い、不具合があれば修正する。

2.4 評価フェーズ

2.4.1 評価フェーズの概要

(1) 学習目標

制作したWebサイトを客観的に評価する

(2) 学習テーマ

Webサイトの評価作業

(3) 学習設定

船橋市の観光関連の組織から、ホームページのリニューアル案件を依頼されたFDL社は制作したWebサイトをクライアントに納品することになった。納品に際して、社内で制作したサイトの評価を行うことになった。

(4) 学習時間

全1.5時間（1.5時間×1回）

学習時間の内訳と使用する教材

学習内容	時間配分	使用教材
2.4 評価フェーズ		
チームプレゼンテーションの実施	50分	
相互評価の実施	40分	

2.4.2 チームプレゼンテーション演習

- (1) 演習計画
- (2) 講義資料

(1) 演習計画

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	1 チームプレゼンテーションの実施
演習課題	作成したWebサイトについて、リニューアル点などに留意しながら説明することができる。
作業内容	① チームプレゼンテーションの実施
事前情報	① 提案書 ② ワイヤフレーム ③ デザイン案
アウトプット	① チームプレゼンテーション
講師の役割	上司役
想定所要時間	50分

② 演習の目標

- ① 制作したWebサイトを実際に操作しながら、リニューアル点などに留意しながら説明することができる。
- ② 自身の作成したWebサイトに関して、客観的に評価を行うことができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
課題、作業内容・流れの把握	5分
チームプレゼンテーションの実施	45分

(2) 講義資料

① 演習課題

◆ 状況説明

- あなた方は、船橋市の観光関連の組織Webサイトのリニューアル提案書に基づき、トップページおよび第一階層のWebサイトを制作した。
- 上司に報告したところ、クライアントへの最終納品の前に、社内で制作したWebサイトの客観的評価を行うこととなった。
- あなた方は、制作したチームで、上司に対し、制作したWebサイトのプレゼンテーションを行うこととなった。

① 演習課題

◆ 作業手順

手順 1 制作したWebサイトを上司に、チームでプレゼンテーションしなさい。

2.4.3 相互評価演習

- (1) 演習計画
- (2) 講義資料

(1) 演習計画

- ① 演習の概要
- ② 演習の目標
- ③ 進行計画例

① 演習の概要

項目	内容
演習場面	2 Webサイト評価の実施
演習課題	他チームの制作したWebサイトについて評価を実施しなさい。
作業内容	① 評価の実施
事前情報	① 提案書 ② ワイヤフレーム ③ デザイン案
アウトプット	① 評価結果
講師の役割	上司役
想定所要時間	40分

② 演習の目標

- ① 他チーム制作したWebサイトを、提案書、ワイヤーフレーム、デザイン案を参考に、意図した制作ができているかを評価することができる。
- ② 必要に応じて、改善点を指摘することができる。

③ 進行計画例

実施項目	時間数
課題、作業内容・流れの把握	5分
評価の実施	35分

(2) 講義資料

① 演習課題

◆ 状況説明

- FDL社では、船橋市の観光関連の組織Webサイトのリニューアル提案書に基づき、トップページおよび第一階層のWebサイトを制作した。
- あなた方は、他チームの制作したWebサイトについて、納品前にクライアントの立場にたって評価を行うこととなった。

① 演習課題

◆ 作業手順

手順 1 制作したWebサイトを、クライアントの立場にたって評価しなさい。